

1964年 昭和39年



第12代理事長
井関 一幸

1964年度スローガン

新時代築く若さと指導力



▲各所に設置した松山市観光案内図



茶の間に色そえる
■カラー放送スタート



沿道に切れめない人波

松山

新時代築く若さと指導力

地区会員大会(宇和島)

第11回日本JC四国

JCの動き

- 3月 新入会員資格規定の作成
5月 第11回四国地区会員大会（宇和島）
8月 松山観光施設アンケート実施
10月 松山市フライブルグ市児童画交換
12月 めぐまれないへき地児童に図書を贈る

市の動き

- 3月 道後温泉センター開館
吳～松山間フェリー埠頭開設
9月 松山市農業協同組合発足
オリンピック聖火歓迎大会開催
松山市少年補導センター開所
10月 テレビのカラー放送開始

世相

- 流行語 みゆき族、カギッ子、組織暴力
流行歌 アンコ椿は恋の花、お座敷小唄、幸せなら手をたたこう

1964年度（昭和39年）

松山青年会議所事業

総会

日時、場所 2月22日 8時より 萬翠荘
出席者 井関、西川、松本、野崎、浜口、鈴、伊狩、井上、奥村、岡田、天津、細谷、森、尤石、福間、村瀬

議事内容

1. 現市長挨拶
2. ゲスト紹介
 - 古市亮、昭和27年度日本JC会頭
 - 楢、シンパボル昭和38年度会頭
 - 早川正、現東京JC副理事長
 - 若林二三雄、現東京JC能務委員長
 - 岩井二郎、現東京JC能務副委員長
3. 第1回四国地区協議会報告
4. 昭和39年度会員構成に関する件
5. 昭和39年度収支予算案に関する件
6. 新入会員資格規定に関する件
7. 昭和39年度事業計画案審議に関する件
 - ① 修練委員会（野崎）
 - ② 会員委員会（伊狩）
 - ③ 社会奉仕委員会（鈴）
 - ④ 習慣委員会（浜口）
8. 事務局通報
 - ① 例会出欠報告の明確化
 - ② 会費の2ヶ月分前納

以上の報告事項、及び協議事項について、井関理事長が慣例に従い議長となつて、議事が進められた。充分な検討の行なわれた後、次の改正並びに決議があつた。

① 定款変更

第7条「入会の諾否は理事の決定による」が「入会の諾否は理事全員の承認による」と、定款変更がされた。

② 中間決算を組み、予算案の修正をはかる。

③ 新入会員資格規定及び松山青年会議所、運営規程の作成を理事会一任に決定

④ 其の他に関しては、原案通り可決された。

古市、楢、早川、若林、岩井、鈴氏の歓迎会

2月22日、午後8時、道後中村旅館において、歓迎会が催された。当夜は、松山検査により、

吉佐、つや子、ばたん、豆千代、かなえ、吉奴、則千代の諸嬪が井関理事長の御好意により、

ホヌテヌとして参加し歓迎会に花を添えた。

総会資料

2月22日	総会 万翠荘
3月7日	第2回四国地区協議会 四国銀行健保会館
3月11日	新入会員資格規定の作成
3月18日	松山JAL協会の星野、余田両氏を迎える例会
5月10日	第11回日本JC四国地区会員大会（宇和島） S40年度四国地区会員大会開催地-松山に決定
5月26日	会員親睦ソフトボール大会

8月	松山観光施設アンケート実施
9月26日	第13回日本JC全国会員大会 岡山
10月	松山市・フライブルク市児童画交換
12月	めぐまれないへき地児童に図書を贈る